

工事・会計管理部 成果報告

工事・会計管理部長 上 道 悟

部局達成度

			
—	4	—	—

総 括

計画的で効果的な行政運営を目指す中、職員の技術水準の向上と技術継承を図るため、研修計画に基づいた研修や最新技術等の情報提供を行いました。また、コスト構造改善を推進し、適正な公共工事の執行及び品質確保のため、設計時における審査、施工中及び履行時における監察及び検査を行いました。さらに、適正な公金管理と出納に関する厳密な審査を行いました。

具体的には、工事のコスト構造改善のみならず、技術的な創意工夫の取組も対象とした技術研究発表会の開催や、各種の職員研修等を行いました。また、適正な施工体制の確保のため、工事監察パトロールや監督職員の立会を求めた工事監察実地研修を実施しました。さらに、適正な会計事務の執行を確保するため、会計事務についての研修等を実施し、職員の資質向上に努めました。

今後も、事務事業執行部門から独立したチェック機能を持つ部として、工事管理においては、適切な公共施設の建設・改修のため、設計から履行までの審査、監察及び検査を行います。また、会計管理においては、適正な会計事務処理の徹底を図っていきます。

組織目標ごとの達成状況

Ⅰ. 適正で合理的な公共事業推進のため、審査、検査及び監察を通して公共工事のコスト構造の改善と品質確保を推進するとともに、建設系技術職員の研修や、技術的な指導・助言を実施します

建設系技術職員の人材育成については、技術職員研修計画に基づき、監督職員や主任監督職員研修の外、測量実務や労働安全衛生に関する専門研修を開催するとともに、技術研修センター及びOB職員による技術継承研修を実施し、職員の意識改革と技術力向上を図りました。

コスト構造改善業務の推進については、平成 29 年 4 月に改定したコスト構造改善マネジメント指針に基づき、研修会や公共工事に関する最新の情報提供を通して、職員の i-Construction 等に関する知識向上に重点を置き、コスト構造改善の周知啓発を図りました。

また、コスト構造改善をテーマとした技術研究発表会を実施し、職員の技術力及びプレゼンテーション能力の向上に取り組みました。

工事現場の適正な施工体制の確保については、パトロールを通じ監督職員及び受注者に対して指導、助言を行い、適正な施工体制を確保するよう促しました。さらに、工事監察実地研修を行い現場で直接職員に理解を高める研修を行いました。

II. 適正な会計事務を継続的に確保していくため、職員の実務能力の向上を図るとともに、公金の安全かつ効率的な運用に努めます

法令・規則に基づく収入・支払事務等が適正に行われるよう、会計事務研修会等を開催し、職員の会計事務能力の向上を図りました。

また、職員インフォメーションへの注意事項掲載や審査を通して、職員へ指導・助言を行うとともに、現金等保管状況調査・実地検査により、現金等の適正な取扱を指導しました。

公金管理については、公金管理運用委員会を開催するとともに、資金収支状況を注視し、余裕資金をきめ細やかに運用しました。

今後も、会計事務が適正に行われるよう、職員への周知徹底を図ります。

Ⅰ．適正で合理的な公共事業推進のため、審査、検査及び監察を通して公共工事のコスト構造の改善と品質確保を推進するとともに、建設系技術職員の研修や、技術的な指導・助言を実施します

1	建設系技術職員の人材育成	達成度	
実 行 内 容			
目 標	技術職員研修計画に基づき、建設系技術職員に求められる基礎技術や現場における指導力の向上を目指すため、監督職員や主任監督職員向けの研修を実施します。 また、最新技術等の情報提供や工事監察、完成検査及び会計実地検査などの結果を反映させる等、研修内容を充実させ、職員の意識改革と技術力向上を図ります。 さらに、技術の継承を着実に推進するとともに公共事業の円滑かつ適正な執行を支援するため、福井市技術研修センター職員による工事監督補助事業や、学識経験者等の専門家を現場に派遣する技術アドバイザー事業を実施します。		
取組内容	○新採用職員研修[前期](工事設計、施工管理) : 5月14日(参加者15人) ○ " [後期] : 11月14日(参加者13人) ○検査職員研修(検査実務) : 6月25日(参加者20人) ○技術職員基礎研修(建設関係法令及び実施計画) : 11月21日[土木]、[建築・設備](参加者34人) ○主任監督職員研修(苦情対応、入札・支払事務) : 8月22日(参加者25人) ○工事監督職員研修(設計・積算、施工管理、検査) : 8月8日(参加者62人) ○ソフト実務研修 : [積算]5月14日(参加者4人) : [CADスキルアップ] 8月9日(参加者9人) : [CAD入門] 土木(5月28日:参加者11人)、建築(7月13日:参加者3人) : [電子納品入門] 5月29日(参加者13人)、[電子納品スキルアップ] 8月9日(参加者13人) : [情報共有システム]10月31日(参加者21人) ○災害対応研修(被災地復興報告、災害査定関係) : 11月30日(参加者44人) ○技術継承研修[建築](中心部のまちづくり):12月18日(参加者15人) 講師:商工労働部公営競技事務所 技師 金谷 健一 [土木](街づくり):12月19日(参加者24人) 講師:福井市技術研修センター 主幹 高間 光夫 [設備](水道事業に関する職務事例):12月19日(参加者19人) 講師:企業局浄水管理事務所 技師 十佐近 俊則 ○専門研修(測量実務) : 10月19日(参加者12人) ○ " (現場の安全対策) : 10月17日(参加者39人)		
数 値 指 標			
目 標	結 果 ・ 成 果		
新採用職員研修(工事設計、施工管理):2回(前期、後期) 検査職員研修(検査実務):1回(委託検査官向け) 技術職員基礎研修(建設関係法令及び実施計画) :2回(土木、建築・設備) 主任監督職員研修(苦情対応、入札・支払事務):1回 工事監督職員研修(設計・積算、施工管理、検査):1回 ソフト実務研修(積算、CAD、電子納品、 情報共有システム) :6回 災害対応研修(被災地復興報告、災害査定関係):1回 技術継承研修(土木、建築、設備) :3回 専門研修(測量実務、現場の安全対策) :2回 上記研修に対する理解度 : 90.0%以上	新採用職員研修(工事設計、施工管理):2回(前期、後期) 検査職員研修(検査実務):1回(委託検査官向け) 技術職員基礎研修(建設関係法令及び実施計画) :2回(土木、建築・設備) 主任監督職員研修(苦情対応、入札・支払事務):1回 工事監督職員研修(設計・積算、施工管理、検査):1回 ソフト実務研修(積算、CAD、電子納品、 情報共有システム) :6回 災害対応研修(被災地復興報告、災害査定関係):1回 技術継承研修(土木、建築、設備) :3回 専門研修(測量実務、現場の安全対策) :2回 上記研修に対する理解度 : 98.5%		
成果・課題	年間の研修計画19回を開催し、延べ396人の参加者がありました。研修に対する理解度は、98.5%であり、目標は達成されました。今年度も、職員研修により、職員が習得した技術やノウハウの継承を図るとともに、「現場の安全対策」の啓発強化、災害対応研修など通常業務では経験できない分野についての研修を行い、職員の能力の向上を図ることができました。特に、「現場の安全対策」研修は、参加者数が39人で昨年度比2.2倍の増と、職員の関心が高い傾向にあります。 今後、研修の中で最近の発注工事の事故事例を紹介し、事故の未然防止に努めます。また、研修計画に基づき研修を実施し、さらなる技術職員の能力向上、意識改革、技術継承の推進を図るため、実施した研修のアンケート結果を検証し、効果的な研修を実施していきます。		

2	コスト構造改善業務の推進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	コスト構造改善マネジメント指針に基づき、コスト構造の改善と品質確保の取組みを継続するとともに、担い手確保やインフラ老朽化対策、建設現場の生産性向上を加えた施策の実施について、研修会等を通じて監督職員に周知・啓発を図ります。 また、国が進める i-Construction について、積極的な情報収集に努め、推進します。		
取 組 内 容	○コスト構造改善専門部会研修の開催 ・4月27日 第1回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催（参加者20人） 平成29年度の実績報告及びコスト構造改善マネジメント指針の説明 ・10月29日 第2回福井市工事コスト構造改善推進専門部会の開催（参加者16人） 平成30年度の中間報告及び第2回目研修 ・12月21日 第3回工事コスト構造改善推進専門部会の開催（参加者16人） 第3回目研修（改正品確法に係る施策、i-Construction に関する情報提供） ○国土交通省出前講座を活用した研修の開催 ・7月18日 公共事業コスト構造改善研修会（参加者72人） 講演 『i-Construction の推進』 講師 国土交通省 大臣官房 技術調査課 工事監視官 矢作智之氏 ○公共工事等技術研究発表会の開催 ・11月7日 公共工事等技術研究発表会 各所属のコスト構造改善等の技術的な創意工夫の取組事例発表 5課5事例発表（参加者57人） ○新技術、コスト構造改善に関する相談・指導 ・設計審査等（343件）		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
コスト構造改善専門部会研修の開催 （i-Construction 含む）：3回		コスト構造改善専門部会研修の開催 （i-Construction 含む）：3回	
国土交通省出前講座を活用した研修の開催：1回		国土交通省出前講座を活用した研修の開催：1回	
公共工事等技術研究発表会の開催：1回		公共工事等技術研究発表会の開催：1回	
コスト構造改善に関する相談、指導：随時		コスト構造改善に関する相談、指導：343件	
成 果 ・ 課 題	コスト構造改善専門部会研修を3回開催し、コスト構造改善マネジメント指針の内容、改正品確法に係る施策及び i-Construction の周知・啓発を図りました。 また、国土交通省の出前講座を活用した研修を開催し、i-Construction について、国の施策の周知を図りました。 平成25年度から通算して6回目となる公共工事等技術研究発表会を開催しました。その結果、5課から5事例の発表があり、職員の技術力、プレゼンテーション力の向上に繋がりました。特に、今回は、公共工事のPRに関する発表が2件あり、いずれも最優秀となったことが特徴でした。 今年度は、コスト構造改善マネジメント指針の2年目であり、近年の担い手確保や生産性向上といった新たな課題への理解の深化を図るとともに、設計審査等において、指針に基づいた技術的な指導を継続しました。 今後は、コスト構造改善マネジメント指針に基づき、研修等により職員の理解が深まるよう、引き続き取り組みます。特に、近年の課題となっている働き方改革を踏まえた生産性の向上に対応できるよう、進化し続ける新技術や国の政策等を注視し、技術職員に周知啓発を図っていきます。		

3	工事現場の適正な施工体制の確保	達成度																																									
実 行 内 容																																											
目 標	公共工事の品質を確保するため、工事監察として工事現場の適正な技術者の配置や下請負の状況等を確認し、その結果を周知すると共に改善すべき事項については、監督職員等に対し指導、助言し是正を求めます。また、工事監察のなかで適正な施工体制を十分に理解してもらえよう、監督職員等の立会を求める工事監察実地研修を実施します。																																										
取 組 内 容	○工事監察の実施																																										
	<table><tr><td></td><td>強化期間</td><td>実施日</td><td>監察件数(指摘)</td><td>指摘率 (%)</td></tr><tr><td>第1回</td><td>5/15～5/28</td><td>5/28 6/1</td><td>17 件 (3 件)</td><td>17.6</td></tr><tr><td>第2回</td><td>7/11～7/24</td><td>7/23.26</td><td>19 件 (1 件)</td><td>5.3</td></tr><tr><td>第3回</td><td>8/10～8/23</td><td>8/24.27</td><td>21 件 (3 件)</td><td>14.3</td></tr><tr><td>第4回</td><td>10/10～10/23</td><td>10/26.29</td><td>21 件 (4 件)</td><td>19.0</td></tr><tr><td>第5回</td><td>11/6～11/19</td><td>11/19.21</td><td>20 件 (0 件)</td><td>0.0</td></tr><tr><td>第6回</td><td>1/18～1/31</td><td>1/30 2/1</td><td>18 件 (1 件)</td><td>5.6</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td></td><td>116 件 (12 件)</td><td>10.3</td></tr></table>				強化期間	実施日	監察件数(指摘)	指摘率 (%)	第1回	5/15～5/28	5/28 6/1	17 件 (3 件)	17.6	第2回	7/11～7/24	7/23.26	19 件 (1 件)	5.3	第3回	8/10～8/23	8/24.27	21 件 (3 件)	14.3	第4回	10/10～10/23	10/26.29	21 件 (4 件)	19.0	第5回	11/6～11/19	11/19.21	20 件 (0 件)	0.0	第6回	1/18～1/31	1/30 2/1	18 件 (1 件)	5.6	合 計			116 件 (12 件)	10.3
		強化期間	実施日	監察件数(指摘)	指摘率 (%)																																						
	第1回	5/15～5/28	5/28 6/1	17 件 (3 件)	17.6																																						
	第2回	7/11～7/24	7/23.26	19 件 (1 件)	5.3																																						
	第3回	8/10～8/23	8/24.27	21 件 (3 件)	14.3																																						
	第4回	10/10～10/23	10/26.29	21 件 (4 件)	19.0																																						
	第5回	11/6～11/19	11/19.21	20 件 (0 件)	0.0																																						
	第6回	1/18～1/31	1/30 2/1	18 件 (1 件)	5.6																																						
	合 計			116 件 (12 件)	10.3																																						
〈工事監察指摘率 部局別〉																																											
<table><tr><td>課 名</td><td>指摘件数 (件) A</td><td>監察件数 (件) B</td><td>指摘率 (%) A/B</td></tr><tr><td>都市戦略部</td><td>3</td><td>11</td><td>27.3</td></tr><tr><td>農林水産部</td><td>1</td><td>12</td><td>8.3</td></tr><tr><td>建設部</td><td>3</td><td>42</td><td>7.1</td></tr><tr><td>下水道部</td><td>1</td><td>24</td><td>4.2</td></tr><tr><td>企業局</td><td>4</td><td>27</td><td>14.8</td></tr><tr><td>計</td><td>12</td><td>116</td><td>10.3</td></tr></table>			課 名	指摘件数 (件) A	監察件数 (件) B	指摘率 (%) A/B	都市戦略部	3	11	27.3	農林水産部	1	12	8.3	建設部	3	42	7.1	下水道部	1	24	4.2	企業局	4	27	14.8	計	12	116	10.3													
課 名	指摘件数 (件) A	監察件数 (件) B	指摘率 (%) A/B																																								
都市戦略部	3	11	27.3																																								
農林水産部	1	12	8.3																																								
建設部	3	42	7.1																																								
下水道部	1	24	4.2																																								
企業局	4	27	14.8																																								
計	12	116	10.3																																								
○工事監察実地研修の実施																																											
・第1回：7月（参加者 23 人）、第2回：10月（参加者 46 人）																																											
○所属長意見交換会（5月）や監督職員研修（6月、8月）を開催																																											
○監察結果や指摘事項に対する原因や改善策を技術インフォメーションに掲載（8回）																																											
数 値 指 標																																											
目 標		結 果 ・ 成 果																																									
工事監察実施回数 ： 6 回		工事監察実施回数 ： 6 回																																									
工事監察実地研修 ： 2 回		工事監察実地研修 ： 2 回																																									
成 果 ・ 課 題	工事現場における適正な技術者の配置や下請負状況を確認する工事監察を目標回数の 6 回実施することができました。また、監督職員等の立会いを求めた工事監察実地研修も 2 回実施し、現地で適正な施工体制の確認を行ったことや、監察をとおした指導・周知により部全体の指摘率は 10.3%で、昨年度の 18.5%より成果がありました。 しかし、部局別にみると指摘率が低い部局は、実地研修の参加率が高い傾向があったことから、来年度は部局ごとに実地研修への高い参加率を求め、引き続き監督職員へ適正な施工体制の理解や意識を高める取組を行っていきます。																																										

II. 適正な会計事務を継続的に確保していくため、職員の実務能力の向上を図るとともに、 公金の安全かつ効率的な運用に努めます

4	適正な会計事務の執行と公金の効率的な運用	達成度	
実 行 内 容			
目 標	法令・規則に基づく収入・支払事務等が適正に行われるよう、会計事務研修会を開催し、職員の会計事務能力の向上を図り、チェック機能を強化します。 また、会計事務の理解を深めるための的確な助言・指導や全庁的な課題への注意喚起を適宜行うとともに、会計実地検査を受検する際の体制を周知し、適正な執行に努めます。 さらに、現金や金券等について、所属を対象に取扱状況調査、検査及び指導を行うことにより、適正な会計事務の周知徹底を図ります。 金融情勢を的確に把握し、各所属と協力しながら、余裕資金を確実な方法で、きめ細やかに運用します。		
取 組 内 容	○会計事務研修会の実施 ・全所属課長補佐等を対象に5月14日開催 100所属 100人参加 ・講師所属：出納課、財政課、施設活用推進室、契約課、監査事務局 ・重点事項：29年度監査結果（指摘事項、全庁的課題等） ○適正な経理手順の周知・指導 ・職員からの質問に対し、適切に助言・指導（随時） ・審査等を通して、職員へ助言・指導（随時） ・会計事務に関する質疑応答集の内容充実 ・職員インフォメーション及び研修会等を通じた会計実地検査受検体制の周知徹底（随時） ○現金等保管状況調査・実地検査の実施 ・7月～10月 検査実施（検査対象：36所属、1小学校、1小中学校、2こども園、1幼稚園） ・H31.1月 検査結果を各所属に通知 ・2月 指導事項該当所属（6所属）から改善結果報告書受理、改善状況を確認 ○公金管理運用委員会の開催 ・公金管理運用委員会を8月21日に開催し、市における公金の管理運用について協議 ・資金収支状況を注視し、余裕資金のきめ細やかな運用の実施		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
会計事務研修の実施 ： 1回 上記研修に対する理解度 ： 90%以上 適正な経理手順の周知・指導 ： 随時 現金保管状況調査・実地検査の実施 ： 1回 公金管理運用委員会の開催 ： 1回		会計事務研修の実施 ： 1回 上記研修に対する理解度 ： 95.6% 適正な経理手順の周知・指導 ： 随時 現金保管状況調査・実地検査の実施 ： 1回 公金管理運用委員会の開催 ： 1回	
成 果 ・ 課 題	課長補佐等を対象に会計事務研修会を開催し、監査で指摘されている事例を中心に実施し、実施後のアンケートから理解度は95.6%で、効果的な研修が実施できました。また、受講後は各所属内での報告、伝達研修により研修内容の共有を図りました。 現金等保管状況調査・実地検査では、注意、指導した点について改善されました。今後も、各所属に対し、現金等の取扱いが適切に行われているかを直接検査し、指導を行っていきます。 今後とも、会計上の事故を未然に防止し、適正な会計事務を継続的に確保していくには、職員の実務能力の向上を図るための不断の努力が必要であり、会計事務研修や日々の審査業務を通じて、会計事務一つひとつを適切に行えるよう、支援及び指導を行っていきます。 また、公金管理については、預金金利が極めて低い状況にある中、資金収支を常に注視しつつ、余裕資金を確実な方法できめ細やかに運用しました。今後も、金融政策の先行きに特段の注意を払いつつ、安全性を重視した上で、効率的な管理・運用を目指していきます。		